

報道発表資料の配付日時 2月 3日 (月) 10時00分

発表項目 (行事名)	「札幌医科大学医療現場ニーズ発表会」の開催について ～医療現場のお困り事を解決する製品開発に向けて～		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>今後成長が期待されるヘルスケア関連産業（医療・福祉機器）への道内ものづくり企業の参入に向け、札幌医科大学の医療スタッフのニーズとものづくり企業とのマッチングを促進するニーズ発表会を次のとおり開催します。</p> <p>「札幌医科大学医療現場ニーズ発表会」の概要 (リーフレット別紙)</p> <p>1 日時:令和2年(2020年)2月7日(金)14:00～17:00 2 会場:札幌医科大学 教育研究棟 I C201 3 主催:北海道、札幌医科大学 4 協力:北海道医療機器関連産業ネットワーク 北海道医療福祉産業研究会 5 定員:80名 6 参加費:無料 7 内容:</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>(1) 道内医工連携開発事例 <u>札幌医大臨床工学技士のニーズから生まれた試作品・製品事例を公表</u> ①株式会社イチムラ シリンジポンプ脱着可能型点滴スタンド ②フィールド・クラブ株式会社 カテーテル使用患者用体幹抑制帯</p> <p>(2) ニーズ発表 (14件) 札幌医大の医療スタッフより製品開発や改良につながるような現場の様々な課題やお困り事を発表。(リーフレット裏面)</p> </div> <p>(3) ニーズ提供者 (医療スタッフ) との情報交換・交流会</p>		
参考			
報道 (取材) に当たって のお願い	医療現場の生の声から、道内ものづくり企業が製品化を目指すユニークな試みなので、 <u>当日の取材をお願いします。</u>		
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	本日付けにて北海道教育記者クラブへも、札幌医科大学より、プレスリリースが行われます。	
担当 (連絡先)	経済部産業振興局産業振興課健康長寿産業グループ (担当者:横山、渋谷) TEL ダイヤルイン 011-204-5336 内線 26-805		



札幌医科大学 医療現場ニーズ発表会



北海道



北海道公立大学法人
札幌医科大学
Sapporo Medical University

ものづくり企業のヘルスケア関連分野への参入を促進するため、札幌医科大学の医療スタッフ(看護師、臨床工学技士、放射線技師)のニーズとものづくり企業とのマッチングを促進する「医療現場ニーズ発表会」を開催します。

主催：北海道、札幌医科大学 協力：北海道医療機器関連産業ネットワーク、北海道医療福祉産業研究会

令和2年(2020年)

2月7日(金) 14:00-17:00

場所：札幌医科大学 教育研究棟I C201

対象：医療分野に関心のあるものづくり企業、IT企業等

定員：80名

第1部

14:00~16:00

■道内医工連携開発事例

- ・株式会社イチムラ様
- ・フィールド・クラブ株式会社様

■ニーズ発表(発表ニーズの概要は裏面をご覧ください。)

※発表以外にも、様々なニーズを会場にて配布予定

第2部

16:00~17:00

■ニーズ提供者(医療スタッフ)との情報交換、交流会

参加希望の方は、下記申込書兼秘密保持に関する申し合わせに記載の上、FAXもしくは、メールにて申込下さい。

申込期限：令和2年(2020年)1月31日(金)まで

申込先：北海道庁経済部産業振興局産業振興課 波田

FAX：011-232-2139

【参加申込書兼秘密保持に関する申し合わせ】

ニーズ発表会の参加にあたり、会場で知り得た情報を第三者に漏洩しないことを誓約します。また、ニーズ発表会は発表者との共同開発の実現を目的とするものであり、その目的以外では使用、複製しないことを誓約いたします。

企業名：	住所：	電話：
氏名：	所属：	Mail：
氏名：	所属：	Mail：

お問い合わせ

■ニーズ発表会について

北海道庁経済部産業振興局産業振興課 波田
Tel: 011-204-5336

■ニーズ内容について

札幌医科大学附属産学・地域連携センター 板垣
Tel: 011-611-2111(内線) 21570 Mail: chizai@sapmed.ac.jp

発表ニーズ一覧

	分類	現場の状況、問題点、ニーズ	左に関係するその他のニーズ
1	音声文字自動変換システム関連	看護記録は、実施した看護師が電子カルテに直接入力しているが、記録にかなりの時間を要している。	SOAP、IC、カンファ記録、スケジュール管理も音声入力
2	ナースコール関連	ハンズフリーのナースコール(インカムのように、耳に装着して声でナースコールがとれるようにしたい。)	コミュニケーションツールと連動するもの、視線で反応するもの、離床予防機能を備えたもの
3	シーネ関連	小児は皮膚が脆弱なので、皮膚にテープの粘着性が移らないよう手作りしている状況。	より装着が簡単で、かつ皮膚に優しいもの
4	エンゼルセット関連	ご家族の希望に沿ったエンゼルケアができるエンゼルセットがあれば良い。	体重の大きい子もいるので、サイズにバリエーションがあると良い
5	車イス関連	膝を手術した患者用に下腿を挙上できるよう、車椅子に座布団と手作りの板を取り付けて代用している。	軽量のもの、手元にストッパーがあるもの、段差越えが容易、四輪駆動のもの、自動運転
6	ナースシューズ関連	ナース自身の健康にも繋がり、かつ足音が静かなもの。また、医療者の夜間の足音は騒音。	点滴の汚れや食べ物を踏んでも音がしにくいもの
7	離床センサー関連	従来の離床センサーは厚みがあり、床になじまず浮いてしまう。ずれや転倒の危険がある。	体につけていることにストレスや怒りを感じる患者がいる
8	衣服関連	ICU入室中は、早期離床のため、鎮静中であっても病衣は上下分かれたタイプのものを着せている。患者の手間がかかることや、病衣に伴う苦痛を軽減できるような病衣がほしい。	熱傷患者向け病衣、通気性の良い覆布、着脱しやすい弾性ストッキング、肌に優しい手袋、靴下、ドレーンを装着できるもの
9	防臭関連	腐敗臭、膿臭など疾患やその処理に起因する臭気の発生が避けられず、入院患者の生活の質に影響を及ぼしている。消臭剤や消臭スプレーによる対応を行っているが、特性に応じた根拠に基づくものではない。	膀胱留置カテーテルや尿路ストーマでハレンバックを使用する場合、有効な尿臭対策に乏しく、臭気を気にされる患者がいる
10	測定器関連	酸素飽和度測定器は指にはさみ使用するが、外れやすく、又拘束感も伴う。また、呼吸測定は患者に意識させることなく、呼吸状態を観察しながら、計測を行っているため、測定に時間を要する。	・体温、脈、血圧、酸素飽和度が1つの機械で測定できてコンパクトなもの ・医療システムへ連動するもの
11	ケーブル整理関連	重症患者には多くの医療機器がついており、移動の前後でモニターなどのケーブルがよく絡まり、解く作業が生じてしまう。絡まなければ移動時のストレスとロスタイムが軽減される。	ドレーンやルートが絡みやすく、インシデントに繋がるおそれがある
12	ストレッチャー関連	検査・手術室へ患者を移送する際、専用ベッド(細く軽量)で移送する。看護師一人で移送するため、重労働の一つであり、電動アシスト付き、衝突防止機能があればスタッフの労力と安全の両面をかなえることができる。	ストレッチャーシャワー浴を介助してくれるロボット
13	移動関連	重症患者の移送には、点滴や機械を同時に移動させることが多い。	酸素ボンベ用キャスター付架台
14	ファントム	施設間またはベンダー間の画質を比較または評価するためのファントム(画像検査全般)	

※上記以外にも、医療スタッフの方からの様々な製品ニーズを配布予定